

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人いわき明星大学

(2) 大学名

いわき明星大学

(3) 大学の位置

〒970-8551

福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ テツオ) 小川 哲生 (平成27年8月)	(シンタニ タカヨシ) 新谷 幸義 (平成29年11月)	理事長の交代 平成29年 11月24日(30)
学長	(ヤマザキ ヨウジ) 山崎 洋次 (平成25年4月)		
学部長	(クメ ミヨコ) 久米 美代子 (平成29年4月)		
学科長等	(クロダ マリコ) 黒田 真理子 (平成29年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	— 年次 人	320人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	80 (—) [—]	80 (—) [—]	80 (—) [—]	1.03倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	160 (—) [—]	(—) [—]	162 (—) [—]	(—) [—]		
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	157 (—) [—]	(—) [—]	154 (—) [—]	(—) [—]		
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	134 (—) [—]	(—) [—]	151 (—) [—]	(—) [—]		
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	86 (—) [—]	(—) [—]	80 (—) [—]	(—) [—]		
入学定員超過率 B/A	—		—		1.07		1.00			

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	86 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (1)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/						/		
計			[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)			

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留學生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	人	人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	86 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	就職(1人)
平成30年度	80 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	166 人	1 人				

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{86} = \boxed{1.16} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	フレッシューズセミナー	1前	2			6	1	3	3			
	日本語リテラシー	1前	1								3	
	コンピュータリテラシー	1前	1								2	
	英語A1	1前	1								4	
	英語A2	1後	1								4	
	英語B1	1前	1								4	
	英語B2	1後	1								4	
	英語C1	234前	1								4	
	英語C2	234後	1								4	
	中国語1	234前		1							1	
	中国語2	234後		1							1	
	韓国語1	234前		1							1	
	韓国語2	234後		1							1	
	哲学の世界	1234前		2							1	
	ことばの科学	1234前		2							1	
	心の科学	1234前		2							1	
	世界の歴史と文化	1234前		2							1	
	倫理学の世界	1234後		2							1	
	芸術の世界	1234後		2							1	
	文学の世界	1234後		2							1	
	日本の歴史と文化	1234後		2							1	
	法学入門	1234前		2							1	
	経済学入門	1234前		2							1	
	社会学入門	1234前		2							1	
	災害からの復興	1234前		2							1	
	暮らしのなかの憲法	1234後		2							1	
	経営学入門	1234後		2							1	
	ジェンダー論	1234後		2							1	
	政治学入門	1234後		2							1	
	自然科学のあゆみ	1234前		2							2	
	健康と薬	1234前		2							3	
	統計のしくみ	1234前		2							1	
	生命の科学	1234後		2							1	
	食品の科学	1234後		2							2	
地球環境の科学	1234後		2							1		
健康の科学	1前	2								2		
健康・スポーツ1	1234前	1								3		
健康・スポーツ2	1234後	1								3		
専門教育科目	人体の構造と機能1	1前	2			1						
	人体の構造と機能2	1前	2			1						
	生化学	1前	2				1					
	人間栄養学	1後	2				1					
	微生物学	1前	2								1	
	薬理学	1後	2			1	1					
	臨床心理学	2前	1								1	
	疾病治療論1	1後	2								1	
	疾病治療論2	2前	2								1	
	疾病治療論3	4前	1								1	
	放射線と環境	1後	1								1	
	放射線と人体	2後	1								1	
	社会福祉学	2前	2								1	
	公衆衛生学	2前	2			1						
	保健統計学	2前	2		2	1						
	疫学	3前	2		1							
	保健医療福祉行政論	3後	2		2						1	
	看護実践基盤学Ⅰ(看護学原論)	1前	2			3	1					
	看護実践基盤学Ⅱ(コミュニケーション)	1後	2			2	1	1	1	2		
	看護実践基盤学Ⅲ(アセスメント技術)	1後	2			1	1	2	1	2		
看護実践基盤学Ⅳ(生活援助技術)	1後	2			1	2	1	1	2			
看護実践基盤学Ⅴ(診療補助技術)	2前	2			1	2	1	1	2			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	フレッシューズセミナー	1前	2			6	1	5	1			
	日本語リテラシー	1前	1								3	
	コンピュータリテラシー	1前	1								2	
	英語A1	1前	1								4	
	英語A2	1後	1								4	
	英語B1	1前	1								3	
	英語B2	1後	1								3	
	英語C1	234前	1								3	
	英語C2	234後	1								3	
	中国語1	234前		1							1	
	中国語2	234後		1							1	
	韓国語1	234前		1							1	
	韓国語2	234後		1							1	
	哲学の世界	1234前		2							1	
	ことばの科学	1234前		2							1	
	心理学概論	1234前		2							1	
	世界の歴史と文化	1234前		2							1	
	倫理学の世界	1234後		2							1	
	芸術の世界	1234後		2							1	
	文学の世界	1234後		2							1	
	日本の歴史と文化	1234後		2							1	
	法学入門	1234前		2							1	
	経済学入門	1234前		2							2	
	社会学入門	1234前		2							1	
	災害からの復興	1234前		2							1	
	暮らしのなかの憲法	1234後		2							1	
	経営学入門	1234後		2							1	
	ジェンダー論	1234後		2							1	
	政治学入門	1234後		2							1	
	自然科学のあゆみ	1234前		2							3	
	健康と薬	1234前		2							3	
	統計のしくみ	1234前		2							1	
	生命の科学	1234後		2							5	
	食品の科学	1234後		2							2	
地球環境の科学	1234後		2							1		
健康の科学	1前	2								2		
健康・スポーツ1	1234前	1								3		
健康・スポーツ2	1234後	1								3		
専門教育科目	人体の構造と機能1	1前	2			1						
	人体の構造と機能2	1前	2			1						
	生化学	1前	2				1					
	人間栄養学	1後	2				1					
	微生物学	1前	2								1	
	薬理学	1後	2			1	1					
	臨床心理学	2前	1								1	
	疾病治療論1	1後	2								1	
	疾病治療論2	2前	2								1	
	疾病治療論3	4前	1								1	
	放射線と環境	1後	1								1	
	放射線と人体	2後	1								1	
	社会福祉学	2前	2								1	
	公衆衛生学	2前	2					0	1			
	保健統計学	2前	2		2			0	1			
	疫学	3前	2		2			0	1			
	保健医療福祉行政論	3後	2		2						1	
	看護実践基盤学Ⅰ(看護学原論)	1前	2					1	0			
	看護実践基盤学Ⅱ(コミュニケーション)	1後	2					0	0	1	0	2
	看護実践基盤学Ⅲ(アセスメント技術)	1後	2					0	0	2	0	2
看護実践基盤学Ⅳ(生活援助技術)	1後	2					0	1	1	0	2	
看護実践基盤学Ⅴ(診療補助技術)	2前	2					0	1	1	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	看護実践基礎学VI(看護過程)	2前	2			1	1	1	2	2	1	
	看護実践基礎学実習(基礎)1	1後	1				2	4	8	2	2	
	看護実践基礎学実習(基礎)2	2前	2				2	4	8	2		
	生涯発達看護学(成人)	1後	1			2						
	健康生活看護学(成人概論)	2前	1			2						
	健康生活看護学(成人・急性期)	2後	1			1			1			
	健康生活看護学(成人・周手術期)	2後	1			1		1				
	健康生活看護学(成人・慢性期)	2後	1			1	1					
	健康生活看護学(成人・回復終末期)	2後	1			1	1					
	健康生活看護学実習(成人)	3前・後	6			2	1	1	2	3		
	生涯発達看護学(老年)	1後	1			1						
	健康生活看護学(老年概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(老年援助)	2後	2			1	1					
	健康生活看護学実習(老年)1	2後	1			3	1	2		2		
	健康生活看護学実習(老年)2	3前・後	3			3	1	1		3		
	生涯発達看護学(母性)	1後	1			1						
	健康生活看護学(母性概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(母性援助)	2後	2			1		2	1			
	健康生活看護学実習(母性)	3前・後	2			1		2	2	5		
	生涯発達看護学(小児)	1後	1			2						
	健康生活看護学(小児概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(小児援助)	2後	2			2			1			
	健康生活看護学実習(小児)	3前・後	2			2			2	5		
	健康生活看護学(精神概論)1	1後	1			1						
	健康生活看護学(精神概論)2	2前	1			1						
	健康生活看護学(精神援助)	2後	2			1						
	健康生活看護学実習(精神)	3前・後	2			1			1	3		
	地域養生看護学(在宅概論)	2前	2			3						
	地域養生看護学(在宅援助)	2後	2			3		1				
	地域養生看護学実習(在宅)	3前・後	2			2		2				
	看護倫理	3前	1			2						
	チーム医療	3前	1			1	1	2	1		2	
	看護マネジメント	3前	1			1		1				
	医療安全	3前	1								1	
	国際看護活動論	3後	1			2						
	放射線と健康支援	3後	1								1	
	災害看護	4前	1			1						
	災害看護演習	4前	1			2			1			
	訪問看護マネジメント	4前	1			2						
	リハビリテーション看護論	4前		1		1						
	コンサルテーション論	4前		1							1	
	緩和ケア	4前		1		2	1				1	
	クリティカルケア	4前		1				1				
	看護学シミュレーション	3前	1			5	2	6	8	2		
	看護学統合実習	4後	2			4	2	6	8	2		
看護援助技術レファレンス	4前	2			2	1	2	6	2			
看護研究	3後	1					1					
卒業研究	4通	2			12	4	5					
保健師養成課程科目	公衆衛生看護学概論	3後			2	1						
	公衆衛生看護学方法論1	4前			2	1		1				
	公衆衛生看護学方法論2	4前			2	1		1				
	公衆衛生看護学活動論	4前			2	1		1				
	学校保健・産業保健	3後			2	1						
	公衆衛生看護学管理論	4後			2	1						
	公衆衛生看護学実習A	4前			2	1		2				
	公衆衛生看護学実習B	4前			3	1		2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	看護実践基礎学VI(看護過程)	2前	2			0	0	1	1	1	2	1
	看護実践基礎学実習(基礎)1	1後	1				1	4	5	2	2	
	看護実践基礎学実習(基礎)2	2前	2				1	4	5	2		
	生涯発達看護学(成人)	1後	1			0						
	健康生活看護学(成人概論)	2前	1			0						
	健康生活看護学(成人・急性期)	2後	1			0				1		
	健康生活看護学(成人・周手術期)	2後	1			0			1			
	健康生活看護学(成人・慢性期)	2後	1			0	1					
	健康生活看護学(成人・回復終末期)	2後	1			0	1					
	健康生活看護学実習(成人)	3前・後	6			0	1	1	1	3		
	生涯発達看護学(老年)	1後	1			1						
	健康生活看護学(老年概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(老年援助)	2後	2			1	1					
	健康生活看護学実習(老年)1	2後	1			3	1	2		2		
	健康生活看護学実習(老年)2	3前・後	3			3	1	1		3		
	生涯発達看護学(母性)	1後	1			1						
	健康生活看護学(母性概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(母性援助)	2後	2			1		2	1			
	健康生活看護学実習(母性)	3前・後	2			1		2	2	5		
	生涯発達看護学(小児)	1後	1			1						
	健康生活看護学(小児概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(小児援助)	2後	2			1				1		
	健康生活看護学実習(小児)	3前・後	2			1				2	5	
	健康生活看護学(精神概論)1	1後	1			0						
	健康生活看護学(精神概論)2	2前	1			0						
	健康生活看護学(精神援助)	2後	2			0			1			
	健康生活看護学実習(精神)	3前・後	2			0			1	1	3	
	地域養生看護学(在宅概論)	2前	2			2						
	地域養生看護学(在宅援助)	2後	2			2		0				
	地域養生看護学実習(在宅)	3前・後	2			2		1				
	看護倫理	3前	1			1						
	チーム医療	3前	1			0	1	2	1		2	
	看護マネジメント	3前	1			1		1				
	医療安全	3前	1								1	
	国際看護活動論	3後	1					2				
	放射線と健康支援	3後	1								1	
	災害看護	4前	1					0				
	災害看護演習	4前	1			1			1	0		
	訪問看護マネジメント	4前	1			1						
	リハビリテーション看護論	4前		1		0						
	コンサルテーション論	4前		1							1	
	緩和ケア	4前		1		1		1			1	
	クリティカルケア	4前		1								
	看護学シミュレーション	3前	1			3	2	6	5	2		
	看護学統合実習	4後	2			3	2	6	5	2		
看護援助技術レファレンス	4前	2			1	1	2	5	2			
看護研究	3後	1					1					
卒業研究	4通	2			8	3	5					
保健師養成課程科目	公衆衛生看護学概論	3後			2	1						
	公衆衛生看護学方法論1	4前			2	1		1				
	公衆衛生看護学方法論2	4前			2	1		0				
	公衆衛生看護学活動論	4前			2	1		1				
	学校保健・産業保健	3後			2	1						
	公衆衛生看護学管理論	4後			2	1						
	公衆衛生看護学実習A	4前			2	1		1				
	公衆衛生看護学実習B	4前			3	1		1			2	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	フレッシュワーズセミナー	1前	2			6	1	3	3		
	日本語リテラシー	1前	1								3
	コンピュータリテラシー	1前	1								2
	英語A1	1前	1								4
	英語A2	1後	1								4
	英語B1	1前	1								3
	英語B2	1後	1								3
	英語C1	234前	1								3
	英語C2	234後	1								3
	中国語1	234前		1							1
	中国語2	234後		1							1
	韓国語1	234前		1							1
	韓国語2	234後		1							1
	哲学の世界	1234前		2							1
	ことばの科学	1234前		2							1
	心の科学	1234前		2							1
	世界の歴史と文化	1234前		2							1
	倫理学の世界	1234後		2							1
	芸術の世界	1234後		2							1
	文学の世界	1234後		2							1
	日本の歴史と文化	1234後		2							1
	法学入門	1234前		2							1
	経済学入門	1234前		2							1
	社会学入門	1234前		2							1
	災害からの復興	1234前		2							1
	暮らしのなかの憲法	1234後		2							1
	経営学入門	1234後		2							1
	ジェンダー論	1234後		2							1
	政治学入門	1234後		2							1
	自然科学のあゆみ	1234前		2							2
	健康と薬	1234前		2							3
	統計のしくみ	1234前		2							1
	生命の科学	1234後		2							1
	食品の科学	1234後		2							2
	地球環境の科学	1234後		2							1
	健康の科学	1前	2								2
健康・スポーツ1	1234前	1								3	
健康・スポーツ2	1234後	1								3	
専門教育科目	人体の構造と機能1	1前	2			1					
	人体の構造と機能2	1前	2			1					
	生化学	1前	2				1				
	人間栄養学	1後	2				1				
	微生物学	1前	2								1
	薬理学	1後	2			1	1				
	臨床心理学	2前	1								1
	疾病治療論1	1後	2								1
	疾病治療論2	2前	2								1
	疾病治療論3	4前	1								1
	放射線と環境	1後	1								1
	放射線と人体	2後	1								1
	社会福祉学	2前	2								1
	公衆衛生学	2前	2			1					
	保健統計学	2前		2		1					
	疫学	3前		2		1					
	保健医療福祉行政論	3後		2							1
	看護実践基盤学Ⅰ(看護学原論)	1前	2			3	1				
	看護実践基盤学Ⅱ(コミュニケーション)	1後	2			2	1	1	1	2	
	看護実践基盤学Ⅲ(アセスメント技術)	1後	2			1	1	2	1	2	
	看護実践基盤学Ⅳ(生活援助技術)	1後	2			1	2	1	1	2	
	看護実践基盤学Ⅴ(診療補助技術)	2前	2			1	2	1	1	2	
	看護実践基盤学Ⅵ(看護過程)	2前	2			1	1	1	2	2	1
	看護実践基盤学実習(基礎)1	1後	1				2	3	7	2	
看護実践基盤学実習(基礎)2	2前	2				2	3	7	2		
生涯発達看護学(成人)	1後	1			2						
健康生活看護学(成人概論)	2前	1			2						
健康生活看護学(成人・急性期)	2後	1			1			1			
健康生活看護学(成人・周手術期)	2後	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	健康生活看護学(成人・慢性期)	2後	1			1	1					
	健康生活看護学(成人・回復終末期)	2後	1			1	1					
	健康生活看護学実習(成人)	3前・後	6			2	1	1	2	3		
	生涯発達看護学(老年)	1後	1			1						
	健康生活看護学(老年概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(老年援助)	2後	2			1	1					
	健康生活看護学実習(老年)1	2後	1			3	1	2	2			
	健康生活看護学実習(老年)2	3前・後	3			3	1	1	3			
	生涯発達看護学(母性)	1後	1			1						
	健康生活看護学(母性概論)	2前	1			1						
	健康生活看護学(母性援助)	2後	2			1		2	1			
	健康生活看護学実習(母性)	3前・後	2			1		2	2	5		
	生涯発達看護学(小児)	1後	1			1						
	健康生活看護学(小児概論)	2前	1			0						
	健康生活看護学(小児援助)	2後	2			1			1			
	健康生活看護学実習(小児)	3前・後	2			1			2	5		
	健康生活看護学(精神概論)1	1後	1			1						
	健康生活看護学(精神概論)2	2前	1			1						
	健康生活看護学(精神援助)	2後	2			1						
	健康生活看護学実習(精神)	3前・後	2			1						
	地域養生看護学(在宅概論)	2前	2			3						
	地域養生看護学(在宅援助)	2後	2			3		0				
	地域養生看護学実習(在宅)	3前・後	2			2		1				
	看護倫理	3前	1			1						
	チーム医療	3前	1			1	1	2	1		2	
	看護マネジメント	3前	1			1		1				
	医療安全	3前	1								1	
	国際看護活動論	3後	1			2						
	放射線と健康支援	3後	1								1	
	災害看護	4前	1			1						
	災害看護演習	4前	1			2			1			
	訪問看護マネジメント	4前	1			2						
リハビリテーション看護論	4前		1		1							
コンサルテーション論	4前		1							1		
緩和ケア	4前		1		2	1				1		
クリティカルケア	4前		1				1					
看護学シミュレーション	3前	1			4	2	5	7	7	2		
看護学統合実習	4後	2			3	2	5	7	7	2		
看護援助技術レファレンス	4前	2			1	1	2	5	5	2		
看護研究	3後	1				1						
卒業研究	4通	2			11	4	4					
保健師養成課程科目	公衆衛生看護学概論	3後			2	1						
	公衆衛生看護学方法論1	4前			2	1		1				
	公衆衛生看護学方法論2	4前			2	1		0				
	公衆衛生看護学活動論	4前			2	1		1				
	学校保健・産業保健	3後			2	1						
	公衆衛生看護学管理論	4後			2	1		2				
公衆衛生看護学実習A	4前			2	1		1					
公衆衛生看護学実習B	4前			3	1		1		2			

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・辞任の理由により、「英語B1」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・辞任の理由により、「英語B2」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・辞任の理由により、「英語C1」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・辞任の理由により、「英語C2」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎）1」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎）1」の専任教員等の配置を「助教8」から「助教7」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎）2」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎）2」の専任教員等の配置を「助教8」から「助教7」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「生涯発達看護学（小児）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「健康生活看護学（小児概論）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「健康生活看護学（小児援助）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「健康生活看護学実習（小児）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「地域養生看護学（在宅援助）」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「地域養生看護学実習（在宅）」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「助教8」から「助教7」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「助教8」から「助教7」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護援助技術レファレンス」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「看護援助技術レファレンス」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教5」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授11」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「公衆衛生看護方法論2」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「公衆衛生看護学実習A」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「公衆衛生看護学実習B」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。

【平成30年度】

- ・職位変更及び講師就任の理由により、「フレッシュャーズセミナー」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師5」に変更。
- ・職位変更及び辞任の理由により、「フレッシュャーズセミナー」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教育内容充実の理由により、「保健統計学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教育内容充実の理由により、「疫学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」へ、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅱ（コミュニケーション）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ、「准教授1」から「准教授0」へ、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅲ（アセスメント技術）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「准教授1」から「准教授0」へ、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅳ（生活援助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「准教授2」から「准教授1」へ、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅴ（診療補助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「准教授2」から「准教授1」へ、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学Ⅵ（看護過程）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「准教授1」から「准教授0」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎1）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎1）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」へ変更。
- ・職位変更及び辞任の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎1）」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎2）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎2）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」へ変更。
- ・職位変更及び辞任の理由により、「看護実践基盤学実習（基礎2）」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」へ変更。
- ・辞任の理由により、「生涯発達看護学（成人）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学（成人概論）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学（成人・急性期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学（成人・周手術期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学（成人・慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学（成人・回復終末期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学実習（成人）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・担当科目追加の理由により、「健康生活看護学（小児概論）」専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学実習（精神概論）1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学実習（精神概論）2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「健康生活看護学実習（精神援助）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ、「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「地域養生看護学（在宅概論）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ変更。
- ・辞任の理由により、「地域養生看護学（在宅援助）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ変更。
- ・辞任の理由により、「チーム医療」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「災害看護」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「災害看護演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「災害看護演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」へ、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「訪問看護マネジメント」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「リハビリテーション看護論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。
- ・辞任の理由により、「緩和ケア」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
- ・辞任の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師6」へ変更。
- ・辞任及び職位変更の理由により、「看護学シミュレーション」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師6」へ変更。

- ・辞任及び職位変更の理由により、「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」へ変更。
- ・辞任の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授8」へ、「准教授4」から「准教授3」へ変更。
- ・講師就任の理由により、専任教員等の配置を「講師4」から「講師5」へ変更。
- ・教養学部における公認心理師課程の整備の理由により、授業科目の名称を「心の科学」から「心理学概論」に変更。
- ・辞任の理由により、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・辞任の理由により、専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・辞任の理由により、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担5」へ変更。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
75 科目	33 科目	8 科目	116 科目	— 科目 [—]	— 科目 [—]	— 科目 [—]	— 科目 [—]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	健康生活看護学（成人概論）	1	2	専門	必修	担当教員辞任のため前期未開講であるが、後期開講に向け、代替教員でAC教員審査を申請している。
2	健康生活看護学（精神概論）	1	2	専門	必修	担当教員辞任のため前期未開講であるが、後期開講に向け、代替教員でAC教員審査を申請している。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当専任教員の辞任のため、止むを得ず設置時の計画を変更せざるを得なくなったものと認識している。学修の体系性、順次性に多少の影響を及ぼすことも懸念されるが、代替教員でのAC教員審査の申請、並びに教員を公募しているところであり、開講時期が遅れることとはなるが、年度内に可能な限り速やかに開講するよう調整を図っている。
 学生に対しては、年度当初のオリエンテーションを始め、関連授業での説明、掲示、学内WEBサイト等を通じて、周知を図っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{116} = \boxed{1.72} \%$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	123,105.00㎡ 145,860㎡	㎡	㎡	123,105.00㎡ 145,860㎡	大学全体 平成30年4月 用途変更のため(30)		
	運動場用地	23,800.00㎡ 53,000㎡	㎡	㎡	23,800.00㎡ 53,000㎡	平成29年4月 用途変更のため(29)		
	小 計	146,905.00㎡ 198,860㎡	㎡	㎡	146,905.00㎡ 198,860㎡			
	そ の 他	309,448.86㎡ 264,767㎡ 257,494㎡	㎡	㎡	309,448.86㎡ 264,767㎡ 257,494㎡			
	合 計	456,353.86㎡ 463,627㎡ 456,354㎡	㎡	㎡	456,353.86㎡ 463,627㎡ 456,354㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		44,165.15㎡ 44,652㎡ (44,165.15㎡) -(44,652㎡)-	㎡	㎡	44,165.15㎡ 44,652㎡ (44,165.15㎡) -(44,652㎡)-	大学全体 平成30年4月 用途変更のため(30)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	40 室	32 10 31 室	121 81 105 室	3 室 (補助職員 1人)	1 室 (補助職員 人)	平成30年4月 用途変更のため(30) 平成29年4月 用途変更のため(29)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学部 看護学科			32 33 室		平成30年4月 用途変更のため(30)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	看護学部	3,375 [405] (3,261 [343]) -(2,665 [285])	22 [5] (22 [5])	5 [5] 5 [5] -(0 [0])	75 (124) -(50)-	725 (683) (672)	29 (30) (19)	平成30年4月 図書・機械・器具設置(30) 平成29年4月 機械・器具設置(29)
	計	3,375 [405] (3,261 [343]) -(2,665 [285])	22 [5] (22 [5])	5 [5] 5 [5] -(0 [0])	75 (124) -(50)-	725 (683) (672)	29 (30) (19)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	5,109.81㎡ 4,917㎡		438 442		288,000 288,500		平成30年4月 用途変更のため(30)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,513.16㎡		陸上競技場1面、野球場1面、テニスコート10面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150千円	150千円	図書購入費	15,560千円	9,935千円	6,398千円
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	86,116千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入及び私立大学等経常経費補助金 等						

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	いわき明星大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
看護学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.03	平成28年度	福島県いわき市 中央台飯野5-5-1	
科学技術学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成22年度	同上	平成27年より学生募集 停止(科学技術学科)
人文学部									
表現文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成17年度	同上	平成27年より学生募集 停止(表現文化学科・ 現代社会学科・心理学 科)
現代社会学科	4	-	-	-	学士 (社会学)	-	昭和62年度	同上	
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	平成13年度	同上	
薬学部									
薬学科	6	90	-	540	学士 (薬学)	0.90	平成19年度	同上	平成23年より入学定員 変更(薬学科150→ 90)
教養学部									
地域教養学科	4	120	-	480	学士 (教養)	0.53	平成26年度	同上	
(大学院)									
理工学研究科									
(修士課程)									
物質理学専攻	2	7	-	14	修士 (物質理学)	0.07	平成4年度	同上	平成23年より入学定員 変更(物質理学専攻15 →7、物理工学専攻20 →7)
物理工学専攻	2	7	-	14	修士 (物理工学)	0.28	平成4年度	同上	
(博士課程)									
物質理工学専攻	3	2	-	6	博士 (理工学)	1.00	平成6年度	同上	平成23年より入学定員 変更(物質理工学専攻 5→2)
人文学研究科									
(修士課程)									
日本文学専攻	2	5	-	10	修士 (日本文学)	0.00	平成4年度	同上	
英米文学専攻	2	5	-	10	修士 (英米文学)	0.00	平成7年度	同上	
社会学専攻	2	5	-	10	修士 (社会学)	0.00	平成4年度	同上	
臨床心理学専攻	2	10	-	20	修士 (臨床心理学)	0.30	平成17年度	同上	
(博士課程)									
日本文学専攻	3	2	-	6	博士 (日本文学)	0.00	平成6年度	同上	

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久米 美代子 (69) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論) 生涯発達看護学 (母性) 健康生活看護学 (母性概論) 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護倫理 卒業研究
		林 正幸 (67) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 公衆衛生学 保健統計学 疫学 災害看護演習 卒業研究
		鹿児島 正豊 (72) <平成29年4月>
専	教授	フレッシュセミナー 人体の構造と機能1 人体の構造と機能2 薬理学 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久米 美代子 (69) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論) 生涯発達看護学 (母性) 健康生活看護学 (母性概論) 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護倫理 卒業研究
		林 正幸 (67) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 公衆衛生学 保健統計学 疫学 災害看護演習 卒業研究
		鹿児島 正豊 (72) <平成29年4月>
専	教授	フレッシュセミナー 人体の構造と機能1 人体の構造と機能2 薬理学 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	久米 美代子 (70) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論) 生涯発達看護学 (母性) 健康生活看護学 (母性概論) 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護倫理 卒業研究
		林 正幸 (68) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 公衆衛生学 保健統計学 疫学 災害看護演習 卒業研究
		鹿児島 正豊 (73) <平成29年4月>
専	教授	フレッシュセミナー 人体の構造と機能1 人体の構造と機能2 薬理学 卒業研究

専	教授	臼井 千津 (65) <平成29年4月>
		生涯発達看護学 (成人)
		健康生活看護学 (成人概論)
		健康生活看護学 (成人・急性期)
		健康生活看護学 (成人・周手術期)
		健康生活看護学実習 (成人)
		地域養生看護学 (在宅概論)
		地域養生看護学 (在宅援助)
		災害看護 災害看護演習
		訪問看護マネジメント 看護学シミュレーション 卒業研究

専	教授	臼井 千津 (65) <平成29年4月>
		生涯発達看護学 (成人)
		健康生活看護学 (成人概論)
		健康生活看護学 (成人・急性期)
		健康生活看護学 (成人・周手術期)
		健康生活看護学実習 (成人)
		地域養生看護学 (在宅概論)
		地域養生看護学 (在宅援助)
		災害看護 災害看護演習
		訪問看護マネジメント 看護学シミュレーション 卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	古地 順子 (61) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		生涯発達看護学 (成人)
		健康生活看護学 (成人概論)
		健康生活看護学 (成人・慢性期)
		健康生活看護学 (成人・回復終末期)
		健康生活看護学実習 (成人)
リハビリテーション看護論 卒業研究		
専	教授	橋本 知子 (67) <平成29年4月>
		フレッシュズセミナー
		生涯発達看護学 (老年)
		健康生活看護学 (老年概論)
		健康生活看護学 (老年援助)
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
		卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	古地 順子 (61) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		生涯発達看護学 (成人)
		健康生活看護学 (成人概論)
		健康生活看護学 (成人・慢性期)
		健康生活看護学 (成人・回復終末期)
		健康生活看護学実習 (成人)
リハビリテーション看護論 卒業研究		
専	教授	橋本 知子 (67) <平成29年4月>
		フレッシュズセミナー
		生涯発達看護学 (老年)
		健康生活看護学 (老年概論)
		健康生活看護学 (老年援助)
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
		卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	橋本 知子 (68) <平成29年4月>
		フレッシュズセミナー
		生涯発達看護学 (老年)
		健康生活看護学 (老年概論)
		健康生活看護学 (老年援助)
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
		卒業研究

専	教授	藤岡 寛 (42) <平成29年4月>			
		生涯発達看護学 (小児) 健康生活看護学 (小児概論) 健康生活看護学 (小児援助) 健康生活看護学 実習 (小児) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術 レファレンス 卒業研究			
専	教授	レンデンマン美智子 (64) <平成29年4月>	専	教授	レンデンマン美智子 (64) <平成29年4月>
		フレッシュースセミナー 生涯発達看護学 (小児) 健康生活看護学 (小児援助) 健康生活看護学実習 (小児) 国際看護活動論 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究			フレッシュースセミナー 生涯発達看護学 (小児) 健康生活看護学 (小児援助) 健康生活看護学実習 (小児) 国際看護活動論 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究
専	教授	レンデンマン美智子 (65) <平成29年4月>	専	教授	レンデンマン美智子 (65) <平成29年4月>
		フレッシュースセミナー 生涯発達看護学 (小児) 健康生活看護学 (小児援助) 健康生活看護学実習 (小児) 国際看護活動論 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究 健康生活看護学 (小児概論)			フレッシュースセミナー 生涯発達看護学 (小児) 健康生活看護学 (小児援助) 健康生活看護学実習 (小児) 国際看護活動論 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	荒井 春生 (54) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		健康生活看護学 (精神概論) 1
		健康生活看護学 (精神概論) 2
		健康生活看護学 (精神援助)
		健康生活看護学実習 (精神)
		子一ム医療 緩和ケア 卒業研究

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	荒井 春生 (54) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		健康生活看護学 (精神概論) 1
		健康生活看護学 (精神概論) 2
		健康生活看護学 (精神援助)
		健康生活看護学実習 (精神)
		子一ム医療 緩和ケア 卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専	教授	小林 紀明 (52) <平成29年4月>	専	教授	小林 紀明 (52) <平成29年4月>	専	教授	小林 紀明 (53) <平成29年4月>
		フレッシュアップセミナー 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究			フレッシュアップセミナー 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究			フレッシュアップセミナー 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究
専	教授	スーティ神崎和代 (65) <平成29年4月>	専	教授	スーティ神崎和代 (65) <平成29年4月>	専	教授	スーティ神崎和代 (66) <平成29年4月>
		健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護マネジメント 国際看護活動論 訪問看護マネジメント 緩和ケア 卒業研究			健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護マネジメント 国際看護活動論 訪問看護マネジメント 緩和ケア 卒業研究			健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 地域養生看護学 (在宅概論) 地域養生看護学 (在宅援助) 地域養生看護学実習 (在宅) 看護マネジメント 国際看護活動論 訪問看護マネジメント 緩和ケア 卒業研究

専	教授	黒田 眞理子 (66) <平成29年4月>
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究
		公衆衛生看護学概論
		公衆衛生看護方法論1
		公衆衛生看護方法論2
		公衆衛生看護活動論
		学校保健・産業保健
		公衆衛生看護管理論
公衆衛生看護学実習A		
公衆衛生看護学実習B		

専	教授	黒田 眞理子 (66) <平成29年4月>
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究
		公衆衛生看護学概論
		公衆衛生看護方法論1
		公衆衛生看護方法論2
		公衆衛生看護活動論
		学校保健・産業保健
		公衆衛生看護管理論
公衆衛生看護学実習A		
公衆衛生看護学実習B		

専	教授	黒田 眞理子 (67) <平成29年4月>
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究
		公衆衛生看護学概論
		公衆衛生看護方法論1
		公衆衛生看護方法論2
		公衆衛生看護活動論
		学校保健・産業保健
		公衆衛生看護管理論
公衆衛生看護学実習A		
公衆衛生看護学実習B		

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	富岡 節子 (60) <平成29年4月>
		フレッシャーズセミナー 生化学 人間栄養学 薬理学 チーム医療 緩和ケア 卒業研究
専	准教授	山邊 素子 (53) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		看護研究 卒業研究

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	富岡 節子 (60) <平成29年4月>
		フレッシャーズセミナー 生化学 人間栄養学 薬理学 チーム医療 緩和ケア 卒業研究
専	准教授	山邊 素子 (53) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		看護研究 卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	富岡 節子 (61) <平成29年4月>
		フレッシャーズセミナー 生化学 人間栄養学 薬理学 チーム医療 緩和ケア 卒業研究

専	准教授	狩谷 恭子 (54) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術) 看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・慢性期) 健康生活看護学 (成人・回復終末期) 健康生活看護学実習 (成人) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究
専	准教授	大内 隆 (59) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (老年援助) 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究

専	准教授	狩谷 恭子 (54) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術) 看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・慢性期) 健康生活看護学 (成人・回復終末期) 健康生活看護学実習 (成人) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究
専	准教授	大内 隆 (59) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (老年援助) 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究

専	准教授	狩谷 恭子 (55) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術) 看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・慢性期) 健康生活看護学 (成人・回復終末期) 健康生活看護学実習 (成人) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究
専	准教授	大内 隆 (60) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (老年援助) 健康生活看護学実習 (老年) 1 健康生活看護学実習 (老年) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	木部 美知子 (62) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
専	講師	鈴木 久美子 (57) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		チーム医療
		看護マネジメント
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	木部 美知子 (62) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
専	講師	鈴木 久美子 (57) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		チーム医療
		看護マネジメント
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	木部 美知子 (63) <平成29年4月>
		看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)
		看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)
		看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (老年) 1
		健康生活看護学実習 (老年) 2
専	講師	鈴木 久美子 (58) <平成29年4月>
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		チーム医療
		看護マネジメント
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究

専	講師	瀬戸 愛子 (47) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究
専	講師	鈴木 直子 (41) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学実習 (老年) 1 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究 公衆衛生看護方法論 1 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護学実習 A 公衆衛生看護学実習 B

専	講師	瀬戸 愛子 (47) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究
専	講師	鈴木 直子 (41) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学実習 (老年) 1 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究 公衆衛生看護方法論 1 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護学実習 A 公衆衛生看護学実習 B

専	講師	瀬戸 愛子 (48) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 健康生活看護学 (母性援助) 健康生活看護学実習 (母性) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 卒業研究
専	講師	鈴木 直子 (42) <平成29年4月>
		フレッシュセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学実習 (老年) 1 看護学シミュレーション 看護学統合実習 卒業研究 公衆衛生看護方法論 1 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護学実習 A 公衆衛生看護学実習 B

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	講師	鈴木 裕子 (52) ＜平成30年4月＞
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		地域養生看護学 (在宅援助)
		地域養生看護学実習 (在宅)
		看護学シミュレーション
		看護学統合実習
		卒業研究
		公衆衛生看護方法論2
		公衆衛生看護学実習A 公衆衛生看護学実習B
専	講師	縦山 定美 (41) ＜平成29年4月＞
		フレッシュズセミナー
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (成人・周手術期)
		健康生活看護学実習 (成人)
		チーム医療
		クリティカルケア
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	講師	縦山 定美 (41) ＜平成29年4月＞
		フレッシュズセミナー
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (成人・周手術期)
		健康生活看護学実習 (成人)
		チーム医療
		クリティカルケア
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	講師	縦山 定美 (42) ＜平成29年4月＞
		フレッシュズセミナー
		看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (成人・周手術期)
		健康生活看護学実習 (成人)
		チーム医療
		クリティカルケア
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

専	助教	丸山 恵子 (58) <平成29年4月> フレッシュセミナー 看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション) 看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術) 看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術) 看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術) 看護実践基盤学Ⅵ (看護過程) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学実習 (成人) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
		片寄 泰子 (47) <平成29年4月> 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

専	助教	丸山 恵子 (58) <平成29年4月> フレッシュセミナー 看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション) 看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術) 看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術) 看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術) 看護実践基盤学Ⅵ (看護過程) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学実習 (成人) 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

		後藤 恭一 (54) <平成30年4月> フレッシュセミナー 公衆衛生学 保健統計学 疫学 卒業研究
専	講師	

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 祐子 (49) <平成29年4月> フレッシュズセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 災害看護演習 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
		柴崎 真澄 (58) <平成29年4月> 看護実践基盤学VI (看護過程) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・急性期) 健康生活看護学実習 (成人) チーム医療 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 祐子 (49) <平成29年4月> フレッシュズセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 災害看護演習 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
		柴崎 真澄 (58) <平成29年4月> 看護実践基盤学VI (看護過程) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・急性期) 健康生活看護学実習 (成人) チーム医療 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	鈴木 祐子 (50) <平成29年4月> フレッシュズセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 災害看護演習 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス 健康生活看護学 (精神援助) 健康生活看護学実習 (精神)
		柴崎 真澄 (59) <平成29年4月> 看護実践基盤学VI (看護過程) 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 健康生活看護学 (成人・急性期) 健康生活看護学実習 (成人) チーム医療 看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス

専	助教	木村 奈緒 (28) <平成29年4月>
		フレッシュアップセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習
専	助教	河田 眞理子 (56) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学 (小児援助)
		健康生活看護学実習 (小児)
看護学シミュレーション 看護学統合実習		
専	助教	池田 真由美 (55) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学実習 (小児)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習
		看護援助技術レファレンス

専	助教	木村 奈緒 (28) <平成29年4月>
		フレッシュアップセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習
専	助教	河田 眞理子 (56) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学 (小児援助)
		健康生活看護学実習 (小児)
看護学シミュレーション 看護学統合実習		
専	助教	池田 真由美 (55) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学実習 (小児)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習
		看護援助技術レファレンス

専	助教	木村 奈緒 (29) <平成29年4月>
		フレッシュアップセミナー 看護実践基盤学実習 (基礎) 1 看護実践基盤学実習 (基礎) 2 看護学シミュレーション 看護学統合実習
専	助教	河田 眞理子 (57) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学 (小児援助)
		健康生活看護学実習 (小児)
看護学シミュレーション 看護学統合実習		
専	助教	池田 真由美 (56) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学 (母性援助)
		健康生活看護学実習 (母性)
		健康生活看護学実習 (小児)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習
		看護援助技術レファレンス

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	大河内 敦子 (43) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (精神)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
兼任	教授	山崎 洋次 (69) <平成29年4月>
		疾病治療論1 疾病治療論2 疾病治療論3 放射線と健康支援 緩和ケア
		金 容必 (48) <平成29年4月>
		微生物学
兼任	教授	福田 幸夫 (56) <平成30年4月>
		社会福祉学 保健医療福祉行政論 チーム医療
		小池 久恵 (58) <平成29年4月>
兼任	教授	英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
		小池 久恵 (58) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
		叢 小榕 (62) <平成29年4月>
兼任	教授	中国語1 中国語2 世界の歴史と文化

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	大河内 敦子 (43) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (精神)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
兼任	教授	山崎 洋次 (69) <平成29年4月>
		疾病治療論1 疾病治療論2 疾病治療論3 放射線と健康支援 緩和ケア
		金 容必 (48) <平成29年4月>
		微生物学
兼任	教授	福田 幸夫 (56) <平成30年4月>
		社会福祉学 保健医療福祉行政論 チーム医療
		小池 久恵 (58) <平成29年4月>
兼任	教授	英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
		小池 久恵 (58) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
		叢 小榕 (62) <平成29年4月>
兼任	講師	中国語1 中国語2 世界の歴史と文化

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	大河内 敦子 (44) <平成29年4月>
		看護実践基盤学実習 (基礎) 1
		看護実践基盤学実習 (基礎) 2
		健康生活看護学実習 (精神)
		看護学シミュレーション 看護学統合実習 看護援助技術レファレンス
兼任	教授	金 容必 (49) <平成29年4月>
		微生物学
		福田 幸夫 (57) <平成30年4月>
		社会福祉学 保健医療福祉行政論 チーム医療
兼任	教授	小池 久恵 (59) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
		小池 久恵 (59) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
兼任	講師	中国語1 中国語2 世界の歴史と文化

兼担	教授	久呉 高之 (63) ＜平成29年4月＞
		哲学の世界 倫理学の世界
兼担	教授	奥村 賢 (63) ＜平成29年4月＞
		芸術の世界
兼担	教授	菊池 真弓 (46) ＜平成29年4月＞
		社会学入門 ジェンダー論
兼担	教授	林 洋一 (66) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山本 佳子 (59) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山口 憲二 (61) ＜平成29年4月＞
		経営学入門
兼担	教授	岩田 惠理 (53) ＜平成29年4月＞
		生命の科学

兼担	教授	久呉 高之 (63) ＜平成29年4月＞
		哲学の世界 倫理学の世界
兼担	教授	奥村 賢 (63) ＜平成29年4月＞
		芸術の世界
兼担	教授	菊池 真弓 (46) ＜平成29年4月＞
		社会学入門 ジェンダー論
兼担	教授	林 洋一 (66) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山本 佳子 (59) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山口 憲二 (61) ＜平成29年4月＞
		経営学入門
兼担	教授	岩田 惠理 (53) ＜平成29年4月＞
		生命の科学

兼担	教授	久呉 高之 (64) ＜平成29年4月＞
		哲学の世界 倫理学の世界
兼任	講師	奥村 賢 (64) ＜平成29年4月＞
		芸術の世界
兼担	教授	菊池 真弓 (47) ＜平成29年4月＞
		社会学入門 ジェンダー論
兼担	教授	林 洋一 (67) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山本 佳子 (60) ＜平成29年4月＞
		災害からの復興
兼担	教授	山口 憲二 (62) ＜平成29年4月＞
		経営学入門

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	梅村 一之 (58) <平成29年4月>
		自然科学のあゆみ
兼任	教授	蝦名 敬一 (63) <平成29年4月>
		食品の科学
兼任	教授	中田 芳幸 (59) <平成29年4月>
		自然科学のあゆみ 災害からの復興
兼任	教授	村田 亮 (65) <平成29年4月>
		健康と薬
兼任	教授	五十嵐 幸一 (48) <平成29年4月>
		健康の科学 健康・スポーツ1 健康・スポーツ2

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	梅村 一之 (58) <平成29年4月>
		自然科学のあゆみ
兼任	教授	蝦名 敬一 (63) <平成29年4月>
		食品の科学
兼任	教授	中田 芳幸 (59) <平成29年4月>
		自然科学のあゆみ 災害からの復興
兼任	教授	村田 亮 (65) <平成29年4月>
		健康と薬
兼任	教授	五十嵐 幸一 (48) <平成29年4月>
		健康の科学 健康・スポーツ1 健康・スポーツ2

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	梅村 一之 (59) <平成29年4月>
		自然科学のあゆみ
兼任	教授	蝦名 敬一 (64) <平成29年4月>
		食品の科学
兼任	教授	村田 亮 (66) <平成29年4月>
		健康と薬
兼任	教授	五十嵐 幸一 (49) <平成29年4月>
		健康の科学 健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼任	教授	佐藤 龍昌 (53) <平成30年4月>
		疾病治療論1 疾病治療論2 疾病治療論3 放射線と健康支援 緩和ケア
兼任	教授	ティモシー クック (59) <平成30年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2 英語C1 英語C2

兼担	准教授	大島 典子 (50) <平成29年 4月> 臨床心理学 コンサルテーション論

兼担	准教授	大島 典子 (50) <平成29年 4月> 臨床心理学 コンサルテーション論

兼担	教授	大嶋 淳俊 (50) <平成30年 4月> 経済学入門
兼担	教授	菊池 雄士 (58) <平成30年 4月> 生命の科学
兼担	教授	片桐 拓也 (68) <平成30年 4月> 生命の科学
兼担	教授	奈良 武司 (52) <平成30年 4月> 生命の科学
兼担	准教授	大島 典子 (51) <平成29年 4月> 臨床心理学 コンサルテーション論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 康平 (39) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 英語A1 英語A2 英語C1 英語C2 ことばの科学
兼任	准教授	能地 克宜 (42) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 文学の世界
兼任	准教授	松本 麻子 (47) <平成29年4月>
		日本語リテラシー
兼任	准教授	高橋 義考 (47) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー
兼任	准教授	中尾 剛 (49) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー
兼任	准教授	大津 理香 (43) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2 英語C1 英語C2

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 康平 (39) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 英語A1 英語A2 英語C1 英語C2 ことばの科学
兼任	准教授	能地 克宜 (42) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 文学の世界
兼任	准教授	松本 麻子 (47) <平成29年4月>
		日本語リテラシー
兼任	准教授	高橋 義考 (47) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー
兼任	教授	中尾 剛 (49) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー
兼任	准教授	大津 理香 (43) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2 英語C1 英語C2

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 康平 (40) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 英語A1 英語A2 英語C1 英語C2 ことばの科学
兼任	准教授	能地 克宜 (43) <平成29年4月>
		日本語リテラシー 文学の世界
兼任	准教授	松本 麻子 (48) <平成29年4月>
		日本語リテラシー
兼任	准教授	高橋 義考 (48) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー 自然科学のあゆみ
兼任	教授	中尾 剛 (50) <平成29年4月>
		コンピュータリテラシー
兼任	准教授	大津 理香 (44) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2 英語C1 英語C2

兼担	准教授	川井 一枝 (58) <平成29年4月>
		英語B1 英語B2 英語C1 英語C2
兼担	准教授	菊池 武 (55) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2
兼担	准教授	高島 翠 (38) <平成29年4月>
		心の科学
兼担	准教授	菅野 昌史 (48) <平成29年4月>
		法学入門 災害からの復興
兼担	准教授	吉川 真一 (59) <平成29年4月>
		災害からの復興 健康と薬

兼担	准教授	菊池 武 (55) <平成29年4月>
		英語A1 英語A2 英語B1 英語B2
兼担	准教授	高島 翠 (38) <平成29年4月>
		心の科学
兼担	教授	菅野 昌史 (48) <平成29年4月>
		法学入門 災害からの復興
兼担	教授	吉川 真一 (59) <平成29年4月>
		災害からの復興 健康と薬

兼担	准教授	高島 翠 (39) <平成29年4月>
		心理学概論
兼担	教授	菅野 昌史 (49) <平成29年4月>
		法学入門 災害からの復興
兼担	教授	吉川 真一 (60) <平成29年4月>
		災害からの復興 健康と薬
兼担	准教授	金 世煥 (50) <平成30年4月>
		韓国語1 韓国語2
兼担	准教授	田中 美和 (47) <平成30年4月>
		経済学入門

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	和足 憲明 (39) <平成29年4月> 暮らしのなかの憲法 政治学入門
兼任	助教	永田 隆之 (44) <平成29年4月> 健康と薬
兼任	助教	佐藤 陽 (39) <平成29年4月> 食品の科学
兼任	助教	佐藤 拓 (37) <平成29年4月> 統計のしくみ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	和足 憲明 (39) <平成29年4月> 暮らしのなかの憲法 政治学入門
兼任	助教	永田 隆之 (44) <平成29年4月> 健康と薬
兼任	助教	佐藤 陽 (39) <平成29年4月> 食品の科学
兼任	准教授	佐藤 拓 (37) <平成29年4月> 統計のしくみ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	萩原 久佳 (54) <平成30年4月> 自然科学のあゆみ
兼任	准教授	江藤 忠洋 (40) <平成30年4月> 生命の科学
兼任	講師	和足 憲明 (40) <平成29年4月> 暮らしのなかの憲法 政治学入門
兼任	准教授	永田 隆之 (45) <平成29年4月> 健康と薬
兼任	准教授	佐藤 陽 (40) <平成29年4月> 食品の科学
兼任	助教	久保田 耕司 (43) <平成30年4月> 生命の科学

兼任	講師	佐藤 健二 (60) <平成29年4月>
		放射線と環境
兼任	講師	柿沼 志津子 (61) <平成30年4月>
		放射線と人体
兼任	講師	大島 弓子 (68) <平成29年4月>
		看護実践基盤学VI (看護過程)
兼任	講師	本多 つよし (59) <平成31年4月>
		医療安全 チーム医療
兼任	講師	鯨岡 アリソン (44) <平成31年4月>
		英語B1 英語B2
兼任	講師	金成 綾(崔 文僊) (44) <平成30年4月>
		韓国語1 韓国語2
兼任	講師	久野 雅司 (45) <平成29年4月>
		日本の歴史と文化

兼任	講師	佐藤 健二 (60) <平成29年4月>
		放射線と環境
兼任	講師	柿沼 志津子 (61) <平成30年4月>
		放射線と人体
兼任	講師	大島 弓子 (68) <平成29年4月>
		看護実践基盤学VI (看護過程)
兼任	講師	本多 つよし (59) <平成31年4月>
		医療安全 チーム医療
兼任	講師	鯨岡 アリソン (44) <平成31年4月>
		英語B1 英語B2
兼任	講師	金成 綾(崔 文僊) (44) <平成30年4月>
		韓国語1 韓国語2
兼任	講師	久野 雅司 (45) <平成29年4月>
		日本の歴史と文化

兼任	講師	佐藤 健二 (61) <平成29年4月>
		放射線と環境
兼任	講師	柿沼 志津子 (62) <平成30年4月>
		放射線と人体
兼任	講師	大島 弓子 (69) <平成29年4月>
		看護実践基盤学VI (看護過程)
兼任	講師	本多 つよし (60) <平成31年4月>
		医療安全 チーム医療
兼任	講師	鯨岡 アリソン (45) <平成31年4月>
		英語B1 英語B2
兼任	講師	
兼任	講師	久野 雅司 (46) <平成29年4月>
		日本の歴史と文化

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉村 忠晴 (51) <平成29年4月>
		経済学入門
兼任	講師	梅津 実 (61) <平成29年4月>
		地球環境の科学
兼任	講師	柴野 照夫 (66) <平成29年4月>
		健康の科学
兼任	講師	千葉 陽子 (63) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼任	講師	根本 昌樹 (54) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉村 忠晴 (51) <平成29年4月>
		経済学入門
兼任	講師	梅津 実 (61) <平成29年4月>
		地球環境の科学
兼任	講師	柴野 照夫 (66) <平成29年4月>
		健康の科学
兼任	講師	千葉 陽子 (63) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼任	講師	根本 昌樹 (54) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	柴野 照夫 (67) <平成29年4月>
		健康の科学
兼任	講師	千葉 陽子 (64) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼任	講師	根本 昌樹 (55) <平成29年4月>
		健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼任	講師	吉田 健一 (65) <平成30年4月>
		中国語1 中国語2
兼任	准教授	山田 貴浩 (45) <平成30年4月>
		統計のしくみ 地球環境の科学

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・藤岡寛教授就任辞退。後任未定であるが、平成30年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・鈴木裕子講師就任辞退。後任未定であるが、平成30年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・片寄泰子助教就任辞退。後任未定であるが、平成30年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・壺小裕兼担教授辞任。兼任講師として新たに採用。
- ・中尾剛兼担教授、教授へ昇格。
- ・川井一枝兼担教授辞任。他に担当教員がいるため支障はない。
- ・菅野昌史兼担教授、教授へ昇格。
- ・吉川真一兼担教授、教授へ昇格。
- ・佐藤拓兼担助教、准教授へ昇格。

【平成30年度】

- ・藤岡寛教授就任辞退に伴う後任について、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。
- ・鈴木裕子講師就任辞退に伴う後任について、平成30年4月より、後藤恭一講師就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・片寄泰子助教就任辞退に伴う後任について、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。
- ・鈴木祐子助教、平成30年4月より、職位変更並びに担当科目の追加。平成29年11月教員審査済み。(講師)(健康生活看護学(精神援助)、健康生活看護学実習(精神))
- ・臼井千津教授辞任。後任未定であるが、平成30年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・古地順子教授辞任。後任未定であるが、平成30年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・荒井春生教授辞任。後任未定であるが、平成30年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・山邊素子准教授辞任。後任未定であるが、平成30年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・丸山恵子助教辞任。後任未定であるが、平成30年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・教育内容充実の理由により、林正幸教授の担当科目の一部を後藤恭一講師へ変更。(公衆衛生学、保健統計学、疫学)
- ・教育内容充実の理由により、山崎洋次兼担教授を佐藤龍昌兼担教授へ変更。
- ・藤岡寛教授就任辞退の理由により、担当科目の一部をレンデンマン美智子教授へ変更。平成29年11月教員審査済み。(健康生活看護学(小児概論))
- ・菊池武兼担教授辞任に伴い、ティモンクック兼担教授へ変更。
- ・教育内容充実の理由により、壺小裕兼任講師の担当科目の一部を吉田健一兼任講師へ変更(中国語1、中国語2)。
- ・金成綾兼任講師辞任の理由により、金世煥兼担教授へ変更。
- ・奥村賢兼担教授辞任。兼任講師として新たに採用。
- ・吉村忠晴兼任講師辞任の理由により、大嶋淳俊兼担教授、田中美和兼担教授へ変更。
- ・和足憲明兼担助教、講師へ昇格。
- ・中田芳幸兼担教授辞任の理由により、荻原久佳兼担教授、高橋義兼担教授へ変更。
- ・永田隆之兼担助教、准教授へ昇格。
- ・佐藤拓兼担教授辞任の理由により、山田貴浩兼任講師へ変更。
- ・岩田恵理兼担教授辞任の理由により、菊池雄士兼担教授、片桐拓也兼担教授、奈良武司兼担教授、江藤忠洋兼担教授、久保田耕司兼担助教へ変更。
- ・佐藤陽兼担助教、准教授へ昇格。
- ・梅津実兼任講師辞任の理由により、山田貴浩兼任講師へ変更。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
12	5	5	8	30	8	4	5	6	23	8	4	5	6	23
(11)	(5)	(4)	(7)	(27)						[Δ 4]	[Δ 1]	[0]	[Δ 2]	[Δ 7]

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用して いる教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	7 名	7 名

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{23}{30} = \boxed{76.66} \%$$

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{7}{23} = \boxed{30.43} \%$$

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	藤岡 寛	必修	生涯発達看護学 (小児)	①	私事都合のため就任辞退 (29)			
			必修	健康生活看護学 (小児概論)	①				
			必修	健康生活看護学 (小児援助)	①				
			必修	健康生活看護学実 習 (小児)	①				
			必修	看護学シミュレー ション	①				
			必修	看護学統合実習	①				
			必修	看護援助技術レ ファレンス	①				
2	講師	鈴木 裕子	必修	看護実践基盤学実 習 (基礎) 1	①	私事都合のため就任辞退 (29)			
			必修	看護実践基盤学実 習 (基礎) 2	①				
			必修	地域養生看護学 (在宅援助)	①				
			必修	地域養生看護学実 習 (在宅)	①				
			必修	看護学シミュレー ション	①				
			必修	看護学統合実習	①				
			必修	卒業研究	①				
			自由	公衆衛生看護方法 論2	①				
			自由	公衆衛生看護学実 習A	①				
自由	公衆衛生看護学実 習B	①							
3	助教	片寄 泰子	必修	看護実践基盤学実 習 (基礎) 1	①	私事都合のため就任辞退 (29)			
			必修	看護実践基盤学実 習 (基礎) 2	①				
			必修	看護学シミュレー ション	①				
			必修	看護学統合実習	①				
			必修	看護援助技術レ ファレンス	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	20 科目	必修	20 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	3 科目	自由	3 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	23 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	臼井 千津	必修	生涯発達看護学（成人）	③	H30. 3. 31付け私事都合のため辞任（30）
			必修	健康生活看護学（成人概論）	③	
			必修	健康生活看護学（成人・急性期）	①	
			必修	健康生活看護学（成人・周手術期）	①	
			必修	健康生活看護学実習（成人）	①	
			必修	地域養生看護学（在宅概論）	①	
			必修	地域養生看護学（在宅援助）	①	
			必修	災害看護	③	
			必修	災害看護演習	①	
			必修	訪問看護マネジメント	①	
			必修	看護学シミュレーション	①	
			必修	卒業研究	①	
2	教授	古地 順子	必修	看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）	①	H30. 3. 31付け私事都合のため辞任（30）
			必修	看護実践基盤学Ⅱ（コミュニケーション）	①	
			必修	生涯発達看護学（成人）	③	
			必修	健康生活看護学（成人概論）	③	
			必修	健康生活看護学（成人・慢性期）	①	
			必修	健康生活看護学（成人・回復終末期）	①	
			必修	健康生活看護学実習（成人）	①	
			選択	リハビリテーション看護論	③	
			必修	卒業研究	①	
3	教授	荒井 春生	必修	看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）	①	H30. 3. 31付け私事都合のため辞任（30）
			必修	看護実践基盤学Ⅱ（コミュニケーション）	①	
			必修	看護実践基盤学Ⅲ（アセスメント技術）	①	
			必修	看護実践基盤学Ⅳ（生活援助技術）	①	
			必修	看護実践基盤学Ⅴ（診療補助技術）	①	
			必修	看護実践基盤学Ⅵ（看護過程）	①	
			必修	健康生活看護学（精神概論）1	③	
			必修	健康生活看護学（精神概論）2	③	
			必修	健康生活看護学（精神援助）	①	
			必修	健康生活看護学実習（精神）	①	
			必修	チーム医療	①	
			選択	緩和ケア	①	
			必修	卒業研究	①	

4	准教授	山邊 素子	必修	看護実践基盤学Ⅰ (看護学原論)	①	H30.3.31付け私事都合のため辞任 (30)							
			必修	看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)	①								
			必修	看護実践基盤学実習 (基礎) 1	①								
			必修	看護実践基盤学実習 (基礎) 2	①								
			必修	看護研究	③								
			必修	卒業研究	①								
5	助教	丸山 恵子	必修	フレッシュャーズセミナー	①	H30.3.31付け私事都合のため辞任 (30)							
			必修	看護実践基盤学Ⅱ (コミュニケーション)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅲ (アセスメント技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅳ (生活援助技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅴ (診療補助技術)	①								
			必修	看護実践基盤学Ⅵ (看護過程)	①								
			必修	看護実践基盤学実習 (基礎) 1	①								
			必修	看護実践基盤学実習 (基礎) 2	①								
			必修	健康生活看護学実習 (成人)	①								
			必修	看護学シミュレーション	①								
			必修	看護学統合実習	①								
			必修	看護援助技術レファレンス	①								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
5	人	必修	54	科目	必修	46	科目	必修	0	科目	必修	8	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	56	科目	計	47	科目	計	0	科目	計	9	科目

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8 人	必修	74 科目	必修	66 科目	必修	0 科目	必修	8 科目
	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
	自由	3 科目	自由	3 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	79 科目	計	70 科目	計	0 科目	計	9 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{8}{30} = \boxed{26.66} \%$$

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の交代に関しては、止むを得ない理由と認識しており、教育効果の低下を招かないよう後任の補充を予定している。学生に対しては、シラバス及び期首のオリエンテーションにおいて周知を図っている。

6 留意事項等に対する履行状況等

看護学部看護学科

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成28年10月)	1. 1年次後期の配当科目である「看護実践基盤学Ⅲ（アセスメント技術）」及び「疾病治療論Ⅰ」について、各科目内容における学修の順序性が重要となるため、教育効果があるような授業展開とすること。	留意事項を踏まえ、「看護実践基盤学Ⅲ（アセスメント技術）」および「疾病治療論Ⅰ」では、科目内容に変更が生じないように留意しつつ、他科目との科目内容の重複や進捗状況を鑑みたくて、学修の順序性に齟齬がでないようシラバスの再検討や教育効果があがるよう配慮した授業を展開すべく準備をすすめてきた。	未履行 今年度授業を実施した後、成績や授業アンケートの結果を利用して科目内容の検証を実施し、必要に応じては、科目内容の変更も検討していく。 授業内容を変更する際は、事前に設置審査委員会に諮ることとする。	
	2. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。	留意事項 教員の補充を必要とされた「地域養生看護学（在宅援助）」については、開講年次（2年後期）までに兼任を補充して対応する予定である。	未履行	該当領域の教員が兼任教員の確保に努めていく。
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	法人の経営委員会人事検討部会について、毎年、次年度の教員補充について検討している。 看護学部については、現在退職教員の補充について公募を検討しているところであるが、採用に際しては教員組織の年齢構成に留意した採用をしていく方針である。 (29)	未履行	法人の経営委員会人事部会において、毎年、教員補充についての検討を行っていく。中期的には看護学部完成年度までに、各専門領域における教員組織編製の将来構想について検討していく。 (29)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし			

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
<p>設 置 時</p> <p>(平成27年4月)</p>	<p>該当なし</p>		
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(平成28年2月)</p>	<p>教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>いわき明星大学は、平成29年度開設を目的として、看護学部の設置を計画しており、平成28年3月31日に設置認可申請を行った。看護学部の入学定員は80人を計画しており、教養学部の入学定員200人から定員を振り替える計画であり、看護学部が認可された場合には、教養学部の入学定員を80人減じて120人とする予定である。</p> <p>教養学部では入学定員の減と併せて、学生を確実に確保するため、「地域連携協議会」における参画高校との連携強化をはじめ、本学独自の大学説明会の実施、オープンキャンパスの実施回数増、高校教員・高校生保護者を対象としたキャリア講演会の実施、在学生によるいわき駅前サテライトオフィスを活用した広報活動の実施など、教養学部のさらなる理解促進、浸透を図るための取組みを実施する。</p> <p>また、高大接続の一環として、教養学部学生と高校生による「地域の将来」をテーマとした連携授業をはじめ、教養学部教員による「地域と社会」「震災復興」をテーマとした出張講義、教養学部の初年次教育科目の高校教員への授業公開を実施することにより、高校との連携・交流に努める。</p> <p>なお、県外からの学生を確保するために、引き続き大学ホームページやSNSを利用した「教育環境の安心・安全」を呼びかけることとする。</p>
		<p>未履行</p>	
		<p>(28)</p>	<p>(28)</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (平成29年2月)</p>	<p>教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>教養学部地域教養学科が開設以来、入学者が89名、99名となっており、前年度履行状況での指摘もあり、平成29年度の看護学部設置にあわせて、教養学部の入学定員を200名から120名に変更した。</p> <p>平成29年度の募集においては、祝祭日の授業日を利用した普段の大学の授業風景を見学できる「大学見学会」やオープンキャンパスの開催日を増加させ、高校生がキャンパスに来る機会を増加させた。</p> <p>また、地元いわき市からの入学者獲得に重点をおき、市内の高校訪問のほか、高校内進学ガイダンス参加や一日総合大学（高校生が本学キャンパスで授業を受ける高校行事）などを実施した。さらに今年度より高校PTA活動へも参画、本学のキャリア教育担当教員による「進学×就職」をテーマとした講演会をおこない、教養学部の新たな教育資源を全面的にPRした。</p> <p>さらには、教養学部2年次のキャリア教育をいわき市の「大学等と地域の連携した「まち・ひと・しごと」創生推進事業」と連携させた「地域連携型PBL—地方創生に向けた、いわき市の課題を中心に—」を実施し、学生が行政や企業との連携した学修をし、それぞれの課題について提案することで、地域社会に教養学部の教育内容を広く周知することができた。</p> <p>しかしながら、平成29年度の入学者は75名で0.62倍であった。</p> <p>(29)</p>	<p>平成30年度の募集においては入学定員の120名を確保することを目標として、オープンキャンパスや大学見学会、高校訪問、会場ガイダンス、高校内ガイダンスの際に、教養学部で行っている教育内容についての理解促進、浸透を図っていく。</p> <p>特に大学見学会の実施回数を増加させることやオープンキャンパスのアクセスの増便などにより、高校生との接触機会の増加に努め教育内容の周知を図る。</p> <p>さらに、設立から3年目となる「いわき明星大学地域連携協議会」において、地域の行政や企業、地元高校との連携の強化して、昨年度に引き続き地域連携型PBLの実施や高校との連携授業の実施をしていくことで、地域社会との連携を密にし、地元いわきにおいて教養学部の教育内容について更なる理解促進、浸透を図っていく。</p> <p>また、募集・広報エリアの見直しを実施し、福島県外から学生を確保するために、高校訪問やガイダンス参加を増加させていく。なお、引き続き県外からの学生を確保するために、引き続き大学ホームページやSNSを利用した「教育環境の安心・安全」を呼びかけることとする。</p> <p>未履行</p> <p>(29)</p>
---------------------------------------	--	-------------	---	---

<p>設置計画履行状況 調査時 (平成30年2月)</p>	<p>教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>教養学部地域教養学科が開設以来、入学者が89名、99名、75名となっていた。平成29年度には看護学部設置にあわせて、教養学部の入学定員を200名から120名に変更した。</p> <p>平成29年度に引き続き、平成30年度の募集において、祝祭日の授業日を利用した普段の大学の授業風景を見学できる「大学見学会」やオープンキャンパスの実施や、地元いわき市からの入学者獲得に重点をおき、市内の高校訪問のほか、高校内進学ガイダンス参加や一日総合大学（高校生が本学キャンパスで授業を受ける高校行事）などを実施し、高校PTA活動への参画、本学のキャリア教育担当教員による「進学×就職」をテーマとした講演会をおこない、教養学部の新たなる教育資源を全面的にPRしたが、定員充足には至らなかった。</p> <p>そのため、平成31年度の健康医療科学部設置認可申請にあわせて、教養学部の募集を停止し、定員100名を健康医療科学部へ振替えることとした。</p>	<p>履行済</p>
			(30)	(30)

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD・SD委員会</p> <p>委員会規程</p>	<p style="text-align: center;">いわき明星大学FD・SD委員会細則</p> <p style="text-align: right;">平成19年4月1日 制 定</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この細則は、いわき明星大学学則（昭和62年4月1日）第65条第2項及びいわき明星大学大学院学則（平成4年4月1日）第10条の2に基づき設置された、FD・SD委員会（以下「委員会」という。）の運営について定めるものとする。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、本学教員の教育研究活動及び職員の教育研究等支援における資質向上・能力開発に関する次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項</p> <p>(4) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行</p> <p>(5) 授業評価の実施と結果に関する事項</p> <p>(6) 職員のSDに関する事項</p> <p>(7) その他FD・SDに関する事項</p> <p>(委員会の構成及び任期)</p> <p>第3条 委員会は次に掲げる者をもって組織する。</p> <p>(1) 各学部を代表する教員</p> <p>(2) 事務局を代表する職員</p> <p>(3) その他学長が必要と認めた者</p> <p>2 委員の人数は、学部長会の意見を聴いて学長が定める。</p> <p>3 委員の任期は、学長が定める。</p> <p>(委員長)</p> <p>第4条 委員会に委員長を置く。</p> <p>2 委員長は、学長が指名する。</p> <p>(委員会の招集)</p> <p>第5条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。</p> <p>(任務)</p> <p>第6条 委員会は、審議の結果を学長に報告する。また、必要に応じて、教授会に報告する。</p> <p>(雑則)</p> <p>第7条 委員会は、必要と認める場合は、委員以外の出席を求め、意見を聴くことができる。また、学長が認めたときには、小委員会を設置することができる。</p> <p>(事務)</p> <p>第8条 委員会の事務は、教務学生支援センターが当たる。</p> <p>(改廃)</p> <p>第9条 この細則の改廃は、学部長会の意見を聴いて、学長が行う。</p> <p>附 則</p> <p>この細則は、平成19年4月1日から施行する。</p> <p>附 則（平成22年4月1日）</p> <p>この細則は、平成22年4月1日から施行する。</p> <p>附 則（平成26年4月1日）</p> <p>この細則は、平成26年4月1日から施行する。</p> <p>附 則（平成27年4月1日）</p> <p>この細則は、平成27年4月1日から施行する。</p>
<p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p>	<p>毎月1回実施（ただし、夏期休業期間は休会とする場合がある。また必要に応じて臨時に開催する場合がある。）</p>

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (4) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (5) 授業評価の実施と結果に関する事項
- (6) 職員のSDに関する事項
- (7) その他FD・SDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD・SD研修会の実施
- ・授業改善アンケートの実施
- ・授業参観制度の実施に向けた検討

b 実施方法

- ・FD・SD研修会の実施
委員会において企画立案し実施している。基本的な内容として、学外から講師を招聘し、午前の部を講演、午後の部をグループワークとして実施している。
- ・授業改善アンケートの実施
前期及び後期の授業終了時期に授業内容に関するアンケートを学生に対して実施している。
- ・授業参観制度の実施に向けた検討
教職員相互による授業参観制度を立案し、平成30年度の導入、実施に向けて検討を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD・SD研修会の実施
全学FD・SD研修会（平成29年度：2回）
第1回（平成29年9月）：参加率 85.7%
第2回（平成30年3月）：参加率 67.4%
- ・授業改善アンケートの実施
前期：180科目（アンケート実施科目数）
後期：188科目（アンケート実施科目数）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD・SD研修会については、大学改革の喫緊の課題をテーマとし、ルーブリック評価の導入等、普段の授業展開（改善）に貢献している。
- ・授業改善アンケートについては、担当教員への結果のフィードバック、及び学内での公表をとおして、担当教員自身並びに教員相互の授業改善を促す仕組みづくりを検討しており、授業参観制度の導入を計画している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期の授業終了時期に実施（前期：7月，後期：1月）

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員：担当科目の結果を個別にフィードバック、ホームページで公開

学生：ホームページで公開

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・学部1年生が在籍するのみであるので、現時点での点検・評価は限定的である。
- ・学部完成までは申請時の教育課程を履行しつつ、将来に向けて検証が必要となる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成23年4月 公表
- ・平成31年10月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開中
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるために、自己評価報告書を提出した。（4月）

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (2018 年 5 月 31 日)